

平成30年度 特別研究推進費実績報告書

2019年 4月26日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 文学部・准教授

(氏名) 渡瀬淳子

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	小倉藩藩主小笠原氏の文芸活動に関する研究					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>藩主の蔵書と思われるもののうち、市外に存在するものとしては、内閣文庫所蔵の小倉藩初期の藩主小笠原忠雄の歌集『老木拙萼集』（全四冊）の書誌調査と写真撮影を行った。全1360余首の和歌が収録されているが、現在1冊目の翻刻が完了している。幕末から明治初頭にかけて豊津藩の置かれていたみやこ町の県立豊津高等学校（現育徳館中学・高等学校）には小笠原家の文書・書籍がまとまって寄贈され「小笠原文庫」として現存する。みやこ町歴史民俗博物館が寄託を受け管理しているので調査を行い、小笠原文庫目録を中心に明治初期までの蔵書がどのようなものだったかを知るための資料を収集し、小笠原文庫の新目録も入手した。市内では、北九州市立いのちのたび博物館所蔵の小笠原文書の調査を行った。小笠原文書は、旧藩主小笠原家の当主小笠原忠統氏の没後、遺族から北九州市に寄贈された資料群である。蔵書の内容は、江戸藩邸にあった書物を中心に、当主が最後まで手元に置いていたものだろうと推察される。文書も合わせて400点以上あり書物の分類・整理がされていないため、まずは悉皆調査が必要と判断し、文書を除く書籍の書誌調査に着手、現在までに150点余りの調査を終えたところである。成果は北九州市立大学文学部紀要89号（94頁-84頁）にて報告した。</p>					
事項	使用内訳（単位：千円）					
	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費	
交付決定額	162	40	20	32	0	70
支出金額	162	10	80	0	1	71
執行残額	0	30	-60	32	-1	-1
共同研究者	所属・職名		氏名		役割分担等	